

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	警防救急課長 中嶋 仁孝	
消防-07	車両購入事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	警防救急課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(1) 防災・安全	施策の方針	5-(1)-③消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	最新鋭の車両に更新し、火災等各種災害に対応できるようにするため。
効果	市民を災害から守る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

更新予定車両のうち、災害対応多目的車の購入費については、世界的な半導体不足等による納入時期の遅延により令和5年度に繰越明許費を設定し事業実施予定。なお、その他の車両については更新を実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	車両購入事業	各種消防車両の購入	購入台数(台)	8 / 10	138,352 / 133,790	5 291,847	80%
02	車両購入事業 消耗品費等	高規格救急自動車 (腰越)積載医療機器 購入費		- / -	1,116 / 1,654	- 1,478	-
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源 内訳	国県支出金	13,162 / 6,666		113,440	
			地方債	97,900 / 112,700		160,200	
			その他特定財源	/			
			一般財源	28,406 / 14,424		19,685	
			事業費の合計(千円)		139,468 / 133,790		293,325
		人件費(千円)			15,192	7,793	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	2.0	1.0		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	車両購入事業	世界的な半導体不足などで、シャンの供給不足により、災害対応多目的車2台を令和5年度に繰越すもの。	災害時に支障があってはならない緊急車両であることから、更新計画に基づき車両を購入、消防活動を充実させ市民に安全安心を提供することができ、減災に繋がる。	部品不足等で、車両納入期限が遅延するなど支障をきたす可能性がある。
02	車両購入事業 消耗品費等		感染拡大防止のため救急隊員、消防隊員の感染防止対策の救急資器材を購入し、救急活動を充実させ市民に安全安心を提供することで減災に繋がる。	感染症の拡大により、感染防止資器材の供給が不安定、さらに高騰し年度内に納入されない可能性がある。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>事業の削減は余地なしとしている。理由として、複雑多様化する災害に備え、車両及び資器材については災害時に支障があってはならない。しかしながら、世界的な半導体等の部品不足により安定供給ができず更新車両の納期の遅れることが懸念されるため、車両・資器材など状況を見極め総合的な判断が必要である。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	購入台数						単位	台
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
あらゆる災害に対応するため、最新の車両及び資機材を購入し、有事の際、迅速的確な災害活動を実施する。	目標値	13	8	10				
	実績値	8	4	8				
	達成率	62.0%	50.0%	80.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--